

平成20年6月24日

厚生労働大臣 舩添 要一 殿

全国医学部長病院長会議

会 長 小川 彰

副会長 河野 陽一

顧 問 吉村 博邦

専門委員会委員長会

委員長 嘉山 孝正

声 明

医療の現場では、医療崩壊はますます深刻化しています。医師の勤務状況は週平均70時間を超えており、若い世代では実に週80時間もの過剰な勤務を強いられています。一方、国民の医療に対するニーズはさらに高まり、かつ多様化しており、現在の医師数では医療崩壊はますます深刻化することが予想されます。

この現状を打開するためには、抜本的な医師養成数の増加が不可欠です。このような状況の中、去る6月17日、国が医師養成数を増加する方針に転換すると発表したことを高く評価するものです。

医療崩壊は今この瞬間にも刻々と進んでおります。全国80の医学部、医科大学は国民の命を守るべく一致一丸結束して医師養成に取り組む所存です。この観点から全国医学部長病院長会議は医師養成数の増加の一日も早い実現を強く求めるものです。